

田中前川雅 単複2冠

帯南商高

江陵高

大野（上士）林田（札内）連続V 中学単

卓球の第41回全十勝中学生学年別大会と第37回全十勝高校学年別大会（いずれも十勝卓球協会、帯広卓球連盟主催）が11日、帯広市総合体育館で開かれた。男子高校ダブルス決勝は、前川雅哉・前川七海組（江陵2年、1年）が中川一真・田西侑矢組（帯三条2年）を3-0で破って優勝。女子同組は田中愛弓・芦口ナル組（帯南商高）が頂点に立った。男子の前川雅と女子の田中は高校2年シングルスも制し、単複2冠を達成した。中学2年シングルスは男子の大野隆貴（上士幌）、女子は林田楓（札内東）が、いずれも昨年の1年に続いて2年連続で優勝した。（村田壮一朗）

全十勝中学・高校学年別卓球



【高校2年女子シングルス決勝】粘り強いプレーで単複2冠を成し遂げた帯南商の田中愛弓

単は一転積極プレー

前川雅

○…単複で戦い方を変えた前川雅哉がいずれも優勝を飾り、「うまくいった」と手応えを感じていた。

ダブルスでは後輩の前川七海と昨年11月の新人戦からペアを組んでいる。「自分は決定力がない」と謙遜する前川雅がラリーをつなぎ、前川七海がチャンスを決める。このパターンが機能した2人は十勝大会2戦目にして栄冠を手にした。2年シングルスでは一転



【高校男子ダブルス決勝】優勝した江陵の前川雅哉・前川七海組（左から）。前川雅は高校2年シングルスも制した。

攻めの姿勢貫く 田中

田中愛弓は「今まで練習してきた成果が出た」と笑顔で大会を振り返った。

ダブルス決勝では同じ帯南商の後輩ペア、岩瀬愛未・渡邊美海組と対戦した。

先輩として負けられないプライドもあり、「逆にやりづらかった」。ドライブを得意とする岩瀬とカッターマン渡邊のコンビネーションに苦戦し、フルゲームの末に勝利した。（攻撃の）流

して積極的なプレーを展開し、決勝も3-0で勝利。「前でプレーすることを意識した」という前川雅は、卓球台に張り付くようにプレー。たまたま相手が下が

ったところに何度も攻撃を仕掛け、得点を重ねた。前川七も1年シングルスで準優勝するなどペアで活躍した。

○…中学2年シングルス男子は大野隆貴が決勝で逆転勝ちを収め、2年連続で頂点に立った。

集中心力で逆転勝ち 大野

「最後まで焦らず、集中してプレーできた」とほっとした表情。決勝は第1ゲームを8-11で落とす苦しいスタートになったが、むしろ「気合が入ってきた」。

落ち着きを取り戻した大野は得意のドライブショットを中心に攻撃を展開してその後の3ゲームを連取、3-1で試合を制した。

れがすごくいい」と後輩たちの健闘をたたえつつ、「相手（芦口ナル）にプレーや声掛けで助けてもらった」と感謝していた。

2年シングルス決勝では、準決勝で芦口をストリートで破った青砥彩（足寄）と対戦。得意とする横回転のサーブで攻撃を仕掛けるも、青砥にかわされ最後はラリー戦に。「いつもなら

る田中だが今大会は諦めずに攻めの姿勢を貫き、3-1で勝利した。「ミスをしてもしっかりと腕を振れるようになった」と精神面での成長を強調した。

夏の高体連に向け、十勝支部予選では個人戦の単複と団体の3冠を目標に掲げる。「ここで満足せず、ラストの高体連でいいプレーができるように頑張る」と力強く意気込みを語った。

【高校男子】（ダブルス）▽準決勝

中川一真・田西侑矢（帯三条）	3-0	濱駿斗・柴田京辰（帯工）
山脇佑太・高嶋智大（帯大谷）	3-1	植原遼太・田守雄大（帯工）
村瀬貴史・村瀬貴史（帯工）	3-1	口翔大（帯工）
山脇佑太・高嶋智大（帯大谷）	3-1	植原遼太・田守雄大（帯工）
前川雅哉・松田知也（帯大谷）	3-1	松田知也（帯大谷）